

論文募集

第 14 回 データ工学ワークショップ DEWS 2003

<http://www.jaist.ac.jp/DEWS2003/>

日程：2003年3月3日(月)～3月5日(水)

場所：加賀観光ホテル(石川県加賀市)

主催：電子情報通信学会データ工学研究専門委員会、日本データベース学会

協賛：情報処理学会データベースシステム研究会、ACM SIGMOD 日本支部

データ工学ワークショップ(DEWS)は、データ工学に関する種々の重要な研究テーマを対象として毎年開催しているワークショップです。今回で第14回を迎え、日本における若手データベース研究者の活発な議論の場となっております。第14回データ工学ワークショップ(DEWS2003)では、データ工学に関する広範な分野の論文を募集します。完成された理論やシステムの研究発表のみならず、萌芽的なアイデアの発表も歓迎です。萌芽的なアイデアの交換・議論の場を提供することにより、今後のデータ工学研究の発展につながることも期待しております。

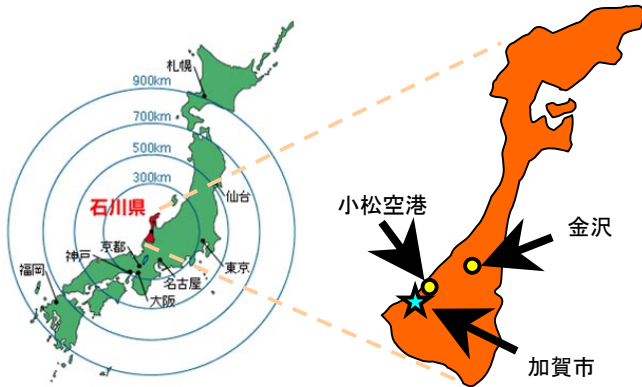
多数の皆様のご投稿・ご参加をお待ちしております。

DEWS 2003 の新しい試み : 「英語セッション」

DEWS2003では、英語でのセッションを設けることになりました。海外発表の練習として英語での発表を希望される方、また、海外から来られている留学生や研究者の方など、英語での発表を希望される方の投稿を歓迎致します。英語でのセッションをご希望の方は、抄録の登録時に英語セッションを指定して下さい。もちろん、査読も英語で行われます。

DEWS の特徴

- あたたかい目で査読を受けられます。
 - 原則、採択する方向で査読します。
 - 査読の一番の目的は、研究をよりよくするためのコメントをフィードバックすることにあります。
- 論文を仕上げるタイミングに余裕があります。
 - エクステンディドアブストラクトでも受け付けます。
 - 最終原稿の提出はワークショップの直前です。
- 頑張ったことが形になる表彰制度があります。(優秀論文賞、優秀プレゼンテーション賞)
- 論文集は、ISSNの付いた刊行物として、学会のWebサーバで電子出版されます。



今後の日程

2002年12月20日(金) 抄録締め切り

2003年1月10日(金) 論文締め切り(フルペーパーまたはエクステンディドアブストラクト)

2月10日(月) 採否結果通知

主なトピック(以下のトピックに限定するものではありません)

XML、半構造データ、Webとインターネット、e-commerce、e-service、e-learning、電子政府、情報統合、異種DB、協調型DB、メディアエータ、メタデータの管理、放送型サービスとDB、パーソナライゼーション、プロフィール、マルチメディアDB、マルチメディア処理、モバイルDB、ユビキタスコンピューティング、エージェント技術、アクセスパス、問い合わせ処理、並行制御とリカバリ、最適化、性能評価、ベンチマーク、DB言語、複製、キャッシュ、情報検索、知識処理、知識発見、アクティブDB、多次元DB、OLAP、時間DB、空間DB、テキストDB、並列DB、分散DB、主記憶DB、実時間DB、オブジェクト指向DB、オブジェクトリレーショナルDB、データマイニング、データウェアハウス、データセンター、科学DB、バイオインフォマティクス、天文学DB、ワークフロー、セキュリティ、認証技術、ストレージシステム、バックアップ、データの可視化、ユーザインタフェース、その他データ工学に関する事例や先進的应用

投稿カテゴリと論文形式

【カテゴリ1:フルペーパーによる投稿】

最終論文に近い内容を投稿していただきます。論文の長さは、電子情報通信学会技術研究報告フォーマット(*1)を使用して、8 ページ以下とします(図表、参考文献を含む)。原稿の1ページ目の論文タイトルの前に “[Full Paper]” と記入してください。投稿論文は DEWS 優秀論文賞の選考対象となります。

【カテゴリ2:エクステンディドアブストラクトによる投稿】

4ページ以下のエクステンディドアブストラクト(図表、参考文献を含む)を査読します。発表直前までに別途最終論文原稿をまとめていただくことにより、最新の研究内容をご発表いただけます。また、萌芽的なアイデアに基づく研究内容や問題提起にウエイトを置いた発表にも向いた投稿形態と考えられます。原稿の1ページ目の論文タイトルの前に “[Extended Abstract]” とご記入ください。

(注) いずれの投稿カテゴリについても、通常の口頭発表のほか、投稿件数によってはポスターセッションでの発表も設けます。発表時間、形態等の詳細は追って、DEWS2003 ホームページにてご案内いたします。

(*1) 電子情報通信学会技術研究報告原稿フォーマットは、以下からダウンロードできます。

(MS Word) <http://www.ieice.org/jpn/toukou/files/ken32.doc> (LaTeX2) http://www.ieice.org/ftp/tex/tech_rep1/

投稿方法

原則的に電子投稿をお願い致します。また、ファイルのフォーマットは、PDF または PostScript に限らせて頂きます。PostScript でも受け付けますが、印刷時のトラブル防止のため、なるべく PDF でお願い致します。

【ステップ1】

12月20日(金)までに、DEWS2003 ホームページの投稿受付のページ(12月9日(月)オープン予定)で、論文の抄録を登録してください。このとき、希望する投稿カテゴリとセッション(日本語/英語)を選択してください。

【ステップ2】

抄録を登録後、論文のファイルをアップロードするための URL が、電子メールで届きます。1月10日(金)までに、送られてきた URL のページを通じて論文のファイルをアップロードしてください。

表彰

【DEWS 優秀論文賞】

カテゴリ1の投稿論文のうち、プログラム委員会による審査の結果、特に優秀と判定された論文に贈られます。DEWS 優秀論文賞受賞論文は、電子情報通信学会情報・システムソサイエティ和文論文誌編集委員会または英文論文誌編集委員会へ研究会推薦論文として推薦されます。

【DEWS 優秀プレゼンテーション賞】

投稿時のカテゴリとは関係なく、ワークショップ当日、特に優秀なプレゼンテーションを行った発表者に贈られます。

論文集の刊行

論文集は、ISSN の付与された刊行物として、学会の Web サーバで電子出版されます。前回の DEWS2002 の論文集に準じた形で公開される予定です。(参考) DEWS2002 論文集 <http://www.ieice.org/iss/de/DEWS/proc/2002/>

運営組織

ワークショップ委員長：吉川正俊(名古屋大)

プログラム委員長：横田治夫(東工大)

チュートリアル委員長：石川 博(東京都立大)

財務担当：片山紀生(情報学研)

LA担当：宮崎 純(北陸先端大)

プログラム委員(五十音順)：

天笠俊之(奈良先端大)

天野浩文(九州大)

有川正俊(東京大)

有次正義(群馬大)

飯沢篤志(リコー)

石川 博(東京都立大)

石川佳治(筑波大)

市川哲彦(山口大)

岩井原瑞穂(京大)

太田 学(東京都立大)

大森 匡(電通大)

小川泰嗣(リコー)

小野智弘(KDDI 研)

掛下哲郎(佐賀大)

片山紀生(情報学研)

片山 薫(東京都立大)

金子邦彦(九州大)

鎌原淳三(神戸商船大)

河野浩之(京大)

國島丈生(岡山県立大)

黒木 進(広島市立大)

櫻井保志(NTT)

佐藤 聡(筑波大)

塩谷 勇(産能大)

上善恒雄(千里国際情報)

白田由香利(学習院大)

角谷和俊(京都大)

高倉弘喜(京都大)

高須淳宏(情報学研)

田島敬史(北陸先端大)

田中秀俊(三菱電機)

塚本昌彦(大阪大)

遠山元道(慶應大)

富井尚志(横国大)

中野美由紀(東京大)

波多野賢治(奈良先端大)

原 隆浩(大阪大)

原嶋秀次(東芝)

原田リリアン(富士通研)

福田剛志(日本 IBM)

古川哲也(九州大)

宝珍輝尚(福井大)

宮崎 純(北陸先端大)

森嶋厚行(芝浦工大)

最新情報は、上記 Web ページ、研究会 Web ページ、dbjapan メーリングリストなどでアナウンスします。